



# 生物多様性 ところざわ 戦略

[概要版]

所沢市 2021年4月

# 生物多様性ところざわ戦略について

「生物多様性ところざわ戦略」は、「自然の恵み」を将来にわたって受けながら、心豊かに暮らすことができる、善きふるさと所沢をつくることを目指して、多くの人や団体が協力をしながら、取り組みを進めていく方法を示した計画です。

計画期間は、2021年（令和3年）から2030年（令和12年）の10年間です。

## 生物多様性

生物多様性は、生きものの豊かさとながりのことです。190以上の国や地域が「生物多様性条約」を締結して、生物多様性を守るための取り組みが、世界や日本で進められています。生物多様性には3つのレベルがあり、それぞれの多様性を守る必要があります。

### ① 生態系の多様性

樹林、草地、湿地、河川、干潟などのさまざまな生態系があること

### ② 種の多様性

さまざまな種の生きもの（動物・植物等）が生息・生育していること

### ③ 遺伝子の多様性

同じ種であっても、地域などによって遺伝子レベルでは違いがあること

## 自然の恵み

私たちの暮らしは、生物多様性が守られた自然から、さまざまな恵みを受けて成り立っています。「自然の恵み」を将来にわたって受け続けるためには、生物多様性の保全が必要です。



私たちの暮らしを支える自然の恵み

出典：環境省「こども環境白書2012」

# 生物多様性に関する現状

## 生きものの生息・生育状況

### ■確認記録の概要

1940年代～2019年（令和元年）までの230点の文献資料から、動物2,879種（哺乳類21種／鳥類215種／爬虫類15種／両生類12種／魚類35種／昆虫類2,581種）と、植物1,452種の記録が得られました。埼玉県内の平野部に位置する自治体の中では生きもの情報の記録が最も多く、生きものの豊かな生物多様性に富んだ地域であることを反映しています。

### ■絶滅の危機にある生きもの（希少生物）の確認状況

環境省及び埼玉県のレッドリストに記載されている「絶滅の危機にある生きもの（希少生物）」は、動物215種（哺乳類11種／鳥類48種／爬虫類10種／両生類9種／魚類11種／昆虫類126種）と、植物207種が確認されています。



オオムラサキ



ゲンジボタル



キンラン

### ■外来生物の確認状況

外来生物のうち特に問題が大きい種類は、法律によって「特定外来生物」に指定されています。特定外来生物は、動物8種（哺乳類2種／鳥類2種／爬虫類1種／両生類1種／魚類1種／昆虫類1種）と、植物3種の計11種が確認されています。

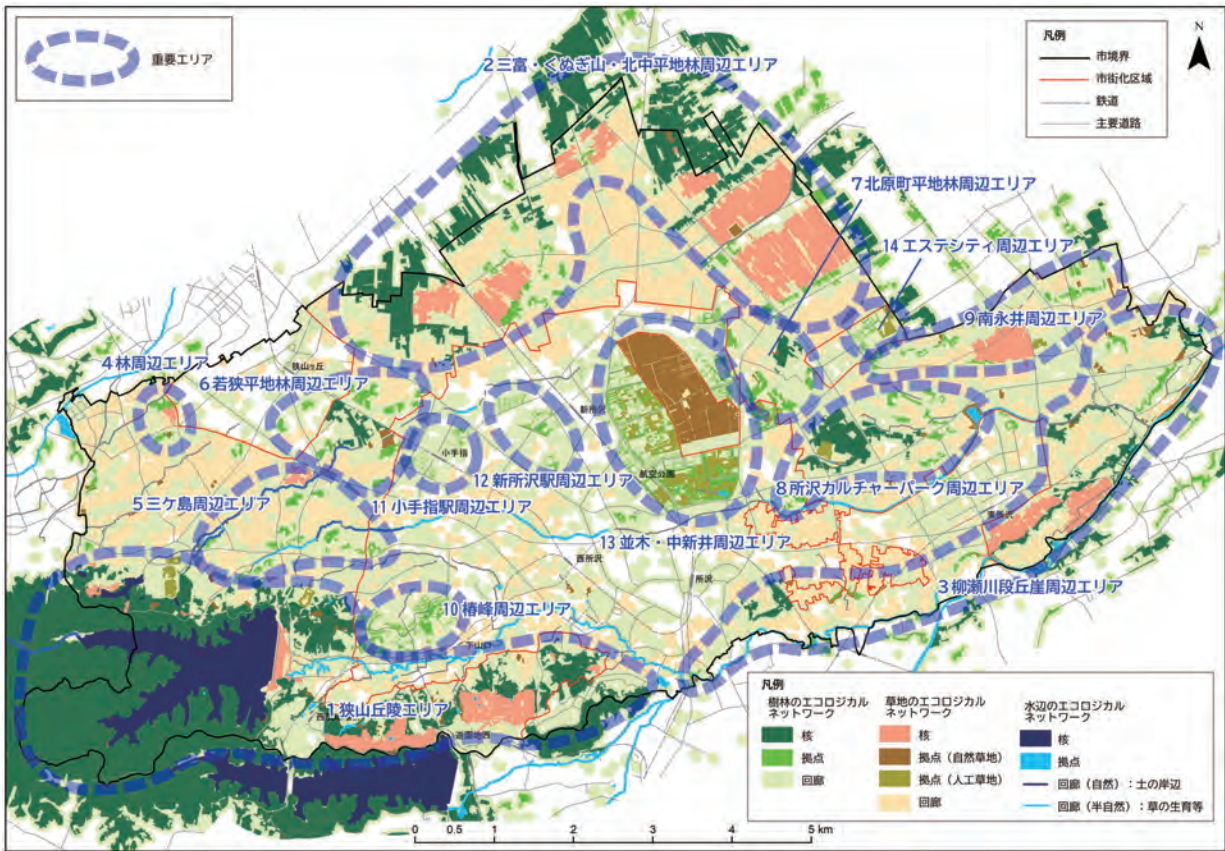


アライグマ（特定外来生物）

## エコロジカルネットワークの状況

生物多様性を守るために、さまざまなタイプの生物生息空間を適切に配置し、生態的なつながりを持たせることを「エコロジカルネットワーク」と呼びます。本市のエコロジカルネットワークの状況について解析を行い、生物生息空間<sup>\*</sup>の保全などを重点的に実施することが望まれる「重要エリア」を選定しました。

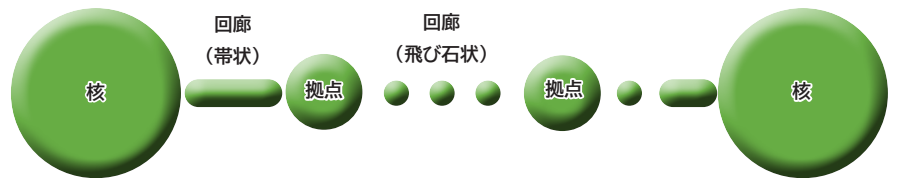
※生物生息空間：本戦略における「動植物の生息・生育場所」の呼び方



エコロジカルネットワークの重要エリア

### エコロジカルネットワークの構成要素

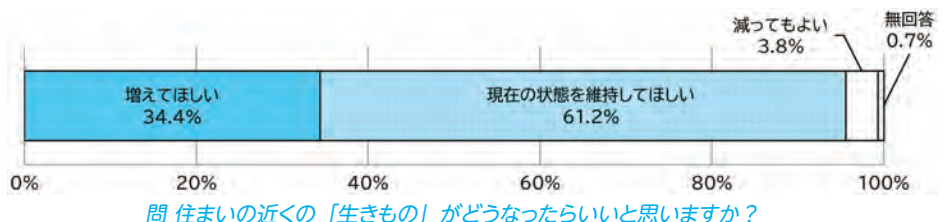
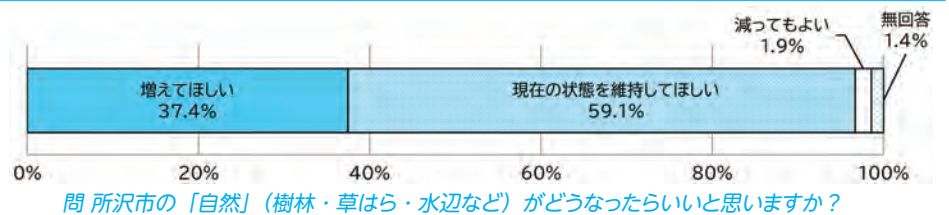
核	高次消費者（生きものの食う・食われるの関係の上位の生きもの）をはじめとする、多くの動植物の安定的な生息地。拠点への動植物の供給源になる。
拠点	動植物の安定的な生息地
回廊	核や拠点をつなぎ、動植物の移動経路となる生物生息空間。帯状のものと飛び石状のものがある。



エコロジカルネットワークのイメージ

## 生物多様性についての市民意識

2019年（令和元年）に実施した市民アンケートでは、「所沢市の自然」については97%の人が、また、「住まいの近くの生きもの」については96%の人が「増えてほしい」又は「現在の状態を維持してほしい」と回答しており、多くの人が、身近に自然や生きものとふれあえるまちづくりを望んでいます。



注）各項目の値を四捨五入しているため、合計は100%になっていません。

## 将来像

# 身近に「生きもののにぎわい」を感じ 心豊かに暮らす善きふるさと所沢

### ■身近に「生きもののにぎわい」を感じ

まちなかでも野鳥のさえずりや虫の声が聞こえ、子どもたちが家や公園、学校のまわりでチョウやトンボ、カブトムシなどに触れ合うことができます

### ■心豊かに暮らす

「生きもののにぎわい」を本市に暮らす誇りや愛着、安全・安心、快適なまちづくりにつなげます

### ■善きふるさと所沢

人と生きものが織りなす善きふるさと所沢を育みます



自然や生きものを守るさまざまな活動が行われています



自然や生きものが好きな子どもがたくさんいます



自然を楽しみに多くの人が訪れています



ベランダや庭にも生きものがやってきます



絶滅の恐れがある生きものを守り、増やす活動が行われています



目標1 「生物生息空間」を守り、創り、つなぎ、エコロジカルネットワークをつくります

目標2 身近な自然や生きものへの「親しみ」と「関心」を高めます

目標3 「生きもののにぎわい」を守るために行動する人や団体等を増やします

目標4 「自然の恵み」を所沢市の魅力アップにつなげます



生きものに配慮した農業や武蔵野の落ち葉堆肥農法が行われています

エコロジカルネットワーク  
市民が自然や生きものに関心を持っています

まちなかの様々な場所で、生きものとのふれあえる場所が増えています

生物多様性を守る取り組みに多くの企業が参加しています

FSC  
生物多様性に配慮した商品を購入する人が増えています

自然の恵みを活かした安全で快適な暮らしが営まれています

# 実施方策

目標を実現するための基本的な方策を示した「基本方策」と  
具体化に向けた内容を示した「施策」を設定しました。

## 目標1 「生物生息空間」を守り、創り、つなぎ、エコロジカルネットワークをつくります

基本方策	施策
1-1. 「生物生息空間」を守り、つなぐ	1-1-1. 「緑地保全制度」による保全指定の推進 1-1-2. 生物生息空間の公有地化の推進 1-1-3. 民間トラスト活動との連携の推進
1-2. 「生物生息空間」を創り、つなぐ	1-2-1. 公共公益施設における「生物生息空間」の保全・再生・創出 1-2-2. 民有地における「生物生息空間」の保全・再生・創出
1-3. エコロジカルネットワークの取り組みを進める	1-3-1. エコロジカルネットワークの目標や構築方法の共有 1-3-2. 生物多様性に配慮した管理の推進 1-3-3. ナラ枯れ等の防止 1-3-4. 広域的なエコロジカルネットワーク形成の推進
1-4. 野生生物を保護、管理する	1-4-1. 野生生物の生息生育状況の把握 1-4-2. 絶滅の危機にある生きものの保護 1-4-3. 外来生物への対応 1-4-4. 野生生物の保護



「緑地保全制度」による保全指定  
(くぬぎ山特別緑地保全地区)



公共公益施設における「生物生息空間」の保全・再生・創出  
(緑町中央公園)



生物多様性に配慮した管理  
(樽井戸川上流部)



生物多様性に配慮した管理  
ほだいで  
(菩提樹池のかいぼり)

## 目標2 身近な自然や生きものへの「親しみ」と「関心」を高めます

基本方策	施策
2-1. 自然や生きものが好きな子どもを増やす	2-1-1. 学校での自然や生きものとのふれあいの充実 2-1-2. 身近な自然や生きものへの関心向上の支援 2-1-3. 地域で子どもが自然や生きものにふれあう機会を増す
2-2. 自然や生きものに関心を持つ市民を増やす	2-2-1. 自然や生きものを学ぶ講座の開催 2-2-2. 自然や生きものを楽しむイベントの実施 2-2-3. 自然や生きものについての情報発信



小学校での自然学習講座  
(若狭小学校)



学校ビオトープ  
(安松小学校)



森での生きものとのふれあい  
(三ヶ島地区樹林)



自然や生きものを学ぶ講座の開催  
(所沢市生涯学習まちづくり出前講座)

### 目標3

## 「生きもののにぎわい」を守るために行動する人や団体等を増やします

#### 基本方策

#### 3-1. 市の事業や団体等の活動に生物多様性を反映する

#### 施策

3-1-1. 市の事業への生物多様性の反映

3-1-2. 団体等の活動への生物多様性の反映

#### 3-2. 団体等の活動を支援する

3-2-1. 団体等の活動の広報

3-2-2. 生物多様性に配慮した活動の支援

3-2-3. 表彰や認定の取得に向けた支援

#### 3-3. 生物多様性に配慮した暮らしを啓発する

3-3-1. 地球温暖化の緩和

3-3-2. 生物多様性に配慮した商品の普及

3-3-3. ごみの排出抑制

#### 3-4. 産業における生物多様性への配慮を推進する

3-4-1. 生きものにやさしい農業の推進

3-4-2. 武蔵野の落ち葉堆肥農法の推進



団体等の活動への生物多様性の反映  
(みどりのパートナー)



団体等の活動への生物多様性の反映  
(くぬぎ山地区自然再生協議会)



地産地消の推進  
(採れたて！農産物直売「とことこ市」)



武蔵野の落ち葉堆肥農法の推進

### 目標4

## 「自然の恵み」を所沢市の魅力アップにつなげます

#### 基本方策

#### 4-1. 自然で地域の活力を高める

#### 施策

4-1-1. 自然を活かした地域振興

4-1-2. 自然を活かした商品などの開発や普及の支援

#### 4-2. 安全、安心、快適なまちづくりにつなげる

4-2-1. 自然を活かした夏の暑さの緩和

4-2-2. 災害による危険の緩和

#### 4-3. 所沢に暮らす誇りと喜びを高める

4-3-1. 自然や生きものを楽しむ活動の充実

4-3-2. 自然を感じるまちなみの保全と創出

4-3-3. 所沢の自然や生きものの魅力の発信



自然を活かした地域振興  
(所沢すみどりのふれあいウォーク)



自然を活かした地域振興  
(エコツアーのイメージ)



所沢すみどりのふれあい  
マップの活用

# モデルプロジェクト

本戦略の施策を先行して具体化し、戦略全体の推進に役立てるために、5つのモデルプロジェクトを設定しました。

## 1. 「生物生息空間」の保全・再生・創出プロジェクト

多くの方が利用する公共施設での「生物生息空間」の保全・再生・創出により、エコロジカルネットワークの形成や啓発、市民の自然や生きものへの関心の向上などを図ります。



## 2. 庭やベランダに生きものを呼ぼう！プロジェクト

身近な場所である庭やベランダに、野鳥や昆虫などの生きものを呼ぶ取り組みを通じて、身近な生きものへの関心を高めるとともに、生物多様性やエコロジカルネットワークの形成について普及・啓発を進めます。



## 3. 武蔵野の生きもの復活プロジェクト

本市を代表的する3つの環境タイプ（樹林／草地／水辺）と、全国的にアピールできる地域イメージである“武蔵野”を合わせた、「武蔵野の生きもの復活プロジェクト」に取り組みます。

### 武蔵野の雑木林の 生きもの復活プロジェクト



### 武蔵野の草原の 生きもの復活プロジェクト



### 武蔵野の清流とミヤコタナゴの 野生復帰プロジェクト



## 4. 所沢エコツアープロジェクト

自然の保全や管理に取り組むさまざまな団体の協力のもと、エコツアーの実施に取り組みます。



## 5. 生きもの大好きプロジェクト

自然や生きものが好きな子どもをふやすために、子どもや親子が楽しく自然を学べるイベントを実施していきます。



### お問い合わせ

#### 所沢市 環境クリーン部 みどり自然課

〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1 高層棟5階

電話 04 (2998) 9373 FAX 04 (2998) 9195 E-mail a9373@city.tokorozawa.lg.jp